

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	2 - 1	事業名	公共交通利用促進事業	担当部課	行政経営部 経営管理課
------	-------	-----	------------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リノモでにぎわい交流するまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	6	快適で便利な交通移動を確保する	款	2	総務費
		施策の進め方	3	交通の円滑化	項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	5	企画費
		フラッグ項目	-		大事業	5	公共交通事業

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、沿線の施設とリノモを使ったイベントを実施したり、リノモウォーキングを実施することで交通手段としてのリノモをPRする。さらに、住民団体の地域づくり活動への支援を行い、リノモ沿線の活性化を図る。					
	事業対象	(だれ、何を対象にしているか) 市内外の住民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 車から公共交通への移動手段の転換を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 地域公共交通会議運営事業	改善・見直し	④ リノモ沿線地域づくり活動促進事業	改善・見直し		
	② リノモ夏休みイベント開催事業	拡充	⑤				
	③ リノモウォーキング開催事業	改善・見直し	⑥				

コスト推移	項目	単位	24決算	25決算	26予算	26決算	27予算
	事業費(A)	千円		5,591	4,852	4,603	4,172
	人件費(B)	千円					
	総コスト(A)+(B)	千円					

成果推移	成果指標	単位	24実績	25実績	26目標	26実績	27目標	28目標	
	A 公共交通利用者数	人/日			21,109	24,481			
	B 「公共交通利用を第一に考える」割合	%		16.9					
	C 市民の利用回数の回答が「減った」より「増えた」の割合	%		減 15.2 増 14.8					
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
	A	地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値							
B	地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値(調査段階ごと)								
C	地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値(調査段階ごと)								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度変更、ニーズ変更、技術変化など) 他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る自治体もある。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 公共交通利用者数は伸びており、地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値を達成している。しかし、リノモ夏休みイベントなどのイベント事業がなかなかリノモ利用者数増に結びついていない。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) リノモ活性化事業としてリノモ夏休みイベントやリノモウォーキングを開催しているが、それぞれのイベント参加人数が公共交通利用者の増加に寄与しているか測りかねる。効果的な取り組みを行うことができるよう、工夫改善を行う必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公共交通の活性化には、市民を中心として自らが公共交通に愛着を持ってもらい、公共交通を利用することが必要不可欠であると考えている。そのため、例えば市民主体の公共交通を応援する組織を作り、市民に身近な公共交通となるよう働きかけていきたい。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		公共交通会議利用促進事業													
番号	①	事務事業名	地域公共交通会議運営事業			款	2	項	1	目	5	大事業	5	中事業	1

1. 事務事業の目的

内容	(どのような事務事業なのか) 利便性の高い地域公共交通の展開を図るため、公共交通の利用実態や利用者満足度を調査・検討している「地域公共交通会議」を運営している。
対象	(だれ、何を対象にしているか) 市内外の住民
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 対象にとって利便性の高い、市内公共交通機関のネットワークを構築する。
完了目安	(どのような状態になったら完了(休・廃止)とみなすか) 継続的に実施する必要がある。

2. コスト推移

項目	単位	24	25	26	26	27
		決算	決算	予算	決算	予算
事業費	千円		4,966	4,227	3,978	3,547

3. 活動推移

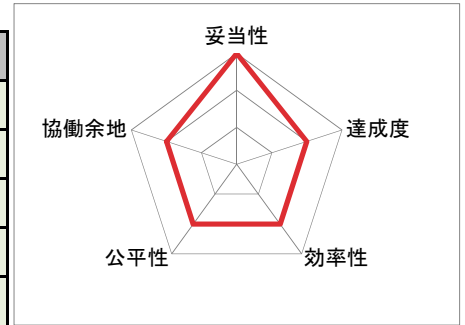
活動指標	単位	24	25	26	26	27	28
		実績	実績	目標	実績	目標	目標
計画事業の実施件数	事業			11	10		

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(ニーズ変化、民間競合など)
なし

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(実施結果や今後の方向性について補足)
連携計画事業の実施件数について目標を達成できなかったため、次年度は目標を達成できるようスケジュール等を見直ししながら進める必要がある。

事業名		リノモ夏休みイベント開催事業													
番号	②	事務事業名	リノモ夏休みイベント開催事業			款	2	項	1	目	5	大事業	5	中事業	2

1. 事務事業の目的

内容	(どのような事務事業なのか) 夏休みに、リノモとリノモ沿線の施設を活用した中学生以下向けのイベントを開催する。
対象	(だれ、何を対象にしているか) 市内外の住民(中学生以下)
意図	(対象をどのような状態にしたいか) イベントに参加してもらい、その後もリノモを使って沿線施設を利用してもらう。
完了目安	(どのような状態になったら完了(休・廃止)とみなすか) 事務事業を実施しても、事務事業の意図の達成が見込まれなくなったとき。

2. コスト推移

項目	単位	24	25	26	26	27
		決算	決算	予算	決算	予算
事業費	千円		500	500	500	500

3. 活動推移

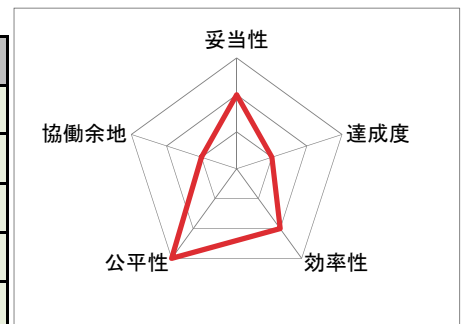
活動指標	単位	24	25	26	26	27	28
		実績	実績	目標	実績	目標	目標
イベント延参加者	人				2,283		

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(ニーズ変化、民間競合など)
なし

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(実施結果や今後の方向性について補足)
定員数より多くの応募があるイベントであるが、今後も参加者アンケートなどを参考に内容改善を図ったり、体験型イベントを増やすなど、参加者により満足していただけるイベントを目指す。また、ボランティアスタッフと協働して事業運営を行うことを検討する。